

我孫子の農業

あびこ型「地産地消」推進協議会

1. 農家数の推移



農家数は減少している

我孫子市は、1965年(昭和40年代)以降、大規模な住宅開発により、人口が急増しました。

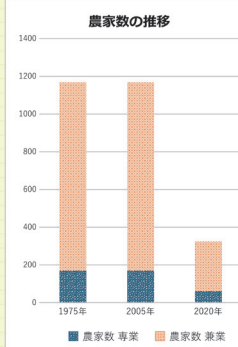


宅地化と共に農家数は減少しました。

1975年から2020年の45年間は842戸減少し、農業経営体数を比較すると27.9%となっています。

1975年 >>>>>> 2020年 $\searrow \Delta$ 842戸

農家数(専・兼業経営体) 各年2月1日現在



我孫子市の農業データ(我孫子市HP)資料:農林業センサス

1975年の農家数(1168戸)



2020年の農家数(326戸)



2. 耕地面積の推移

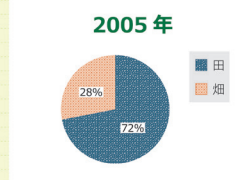


耕地面積とは、農作物の栽培を目的とする土地で、けい畔を含む田と畑及び樹園地を合わせた面積となります。

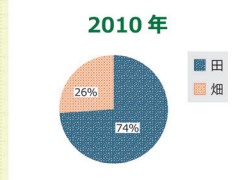
面積は微減している

2005年の耕地面積では、田が全体の約72%を占め、畑が約19%となっています。2020年の耕地面積では、田が全体の約76%を占め、畑が約24%となっています。

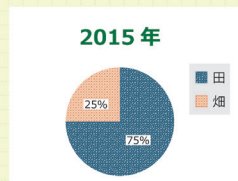
耕地面積(総面積、田・畑面積)



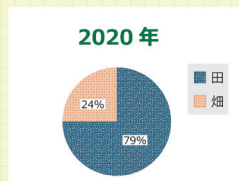
総面積:1270ha 田:919ha 畑:249ha



総面積:1280ha 田:942ha 畑:339ha



総面積:1250ha 田:931ha 畑:315ha



総面積:1230ha 田:929ha 畑:297ha

資料:農林水産関係市町村別統計「耕地及び作付面積統計」※数値は四捨五入しており、計が一致していないことがあります

3. 農業生産額の推移

我孫子市の「農業生産額」(農業生産活動の大きさを示す指標)

1995年で3,520百万円です。

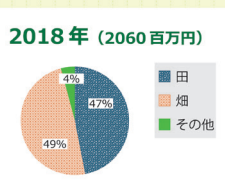
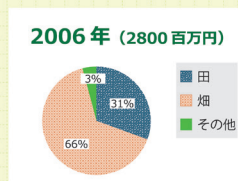
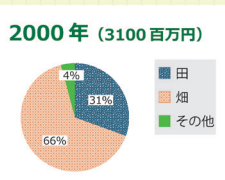
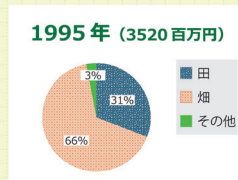
2018年で2,060百万円です。1995年に比べ58%に減少しています。

内訳としては、野菜類が全体の約49%、米類が約47%を占めています。

野菜類と米に特化したものになっており、いも類、果実、花きなどは少ないです。

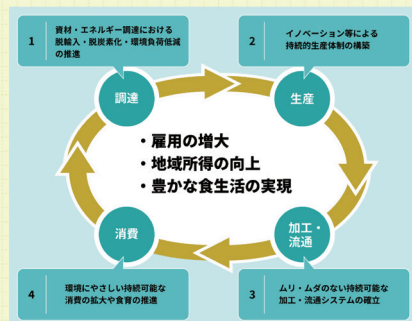


農業生産の種類別生産量



資料:千葉県生産農業所得統計

4. 緑の食料システム戦略



環境と調和のとれた食料システムの確立のため環境負荷低減事業活動
食料・農林水産産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーション(技術革新)で実現

【2050年までに目指す姿と取組方向】

- 2013年
- 農林水産業のCO2 ゼロエミッション化(農薬や温室ガスの量を可能な限りゼロに近づけること)
 - 化学農薬使用量50%低減
 - 化学肥料使用量の30%低減
 - 耕地面積に占める有機農業の割合を25%に拡大
 - 他

- 2040年
- 革新的な技術・生産体系を順次開発(技術開発目標)

- 2050年
- 革新的な技術・生産体系の開発を踏まえ実現(社会実装目標)

農林水産省 緑の食料システム戦略 令和3年



あびこ型「地産地消」推進協議会



会 長 齋藤 徳剛

電 話 04-7128-7770

住 所 我孫子市
高野山新田193
水の館2階

力を合わせて我孫子の「地産地消」を推進しよう。環境保全型農業をめざして。協議会は農家が結束して栽培経歴(トレーサビリティ)を作成し、安全・安心で、新鮮な農産物を提供する活動を支援しています。「農と食」を通して市民や子どもたちの「食育」を推進する活動を支援しています。

Mail abikochisanchisyokyo@sky.plala.or.jp

Web <http://abiko-Chisan.com/>